

令和8年度 すくすくウォッチ結果考察【概要版】

＜すくすくウォッチとは＞

令和3年度から始まった小学校5・6年生を対象(6年生はわくわく問題と理科のみ)とした大阪府独自の取組み。今年度は4月28日(火)に実施。
子どもたち一人ひとりが、学びの基盤となる言語能力や読解力、情報活用能力、問題発見・解決能力等を活用させ、これからの予測困難な社会を生き抜く力を着実につけることを目的とする。その目的を達成するため、子ども、家庭、学校は、本テストを実施するとともに、テスト及びアンケートの結果や分析等から、以下の取組みの充実に努める。

- 学校…教員が、子ども一人ひとりの学びに対する思いや強み弱みを知り、一人ひとりの実態に合わせた指導を行う。
- 児童…自分の学びをふりかえり自らの強みや弱みなどを知って新たな目標をたて、強みをのばすことや課題を克服すること等に取組む。
- 家庭…子どもの伸びや課題を知り、子どもを誉め、励ます等によって、子どもを支援する。

すくすくウォッチから確認できた成果と課題

成果について

- ★基礎的・基本的な学力の定着が見られた。
- ★理由や根拠を明確にして伝えること、自分で考えたことを伝えることについて成果が見られた。
- ★ほとんどの設問において無解答率が府と比べて低かった。

課題について

- ★複数の情報を関連付け、それをもとに論理的に考える力に課題が見られた。
- ★理科の既習内容を定着させる必要がある。
(昆虫・直列・並列つなぎ・電気を通すか・磁石につくか等)

課題解決に向けた今後の市としての取組み

調査結果より

★目的に応じて、根拠を明確にし、自分の考えをまとめ表現する授業の充実

- ①すべての教科で相手・目的を明確に提示し、文章を書く
- ②資料から必要な情報を選び、設定された条件を踏まえて書き表す
- ③課題や目的を意識しながら、周りの発言と自分の考えを比較し、整理して考えをまとめる
- ④推敲を通して表現をより適切なものにしていく

市として進めていくこと

★自分で考え 自分で決めて 自ら行動する主体的に取組む授業

- ①一人ひとりの「好き」(好奇心)を引き出すような課題の設定、自分に合った課題や方法を選択・調整する場面の設定
- ②他者との協働を通して、課題解決に取り組む学習活動の設定
- ③課題解決に向けて、主体性を発揮し情報を集めて整理したり、自分の考えをまとめたり探究していく授業

★ICT機器を活用した学習活動の充実

- ①自分の考えを表現する道具として活用するとともに、他者の意見と比較したり、様々な考えを交流し、自分の考えを再構築したりする場面の設定
- ②シンキングツールを用いて考えを整理し文章の構成を意識しながら、表現を工夫する場面の設定
- ③遠隔合同授業を学校間で実施し、小グループで協働して課題解決したり、考えを深めたりする場面の設定
- ④デジタル教材、学習アプリの活用の推進(eライブラリ、BASE in OSAKA、ロイノート等)

★学校全体で組織的に取組む授業改善

- ①主体的、対話的で深い学びの視点に立った授業づくり
- ②各教科において、「自己決定」や「自己調整」しながら学ぶ授業づくり
- ③教育活動全体で言語活動の充実

わくわく問題（教科横断的問題）について

(※クロス集計：質問の回答の違いによって国語や算数の結果にどのような傾向があるかをみる集計)

＜わくわく問題とは＞

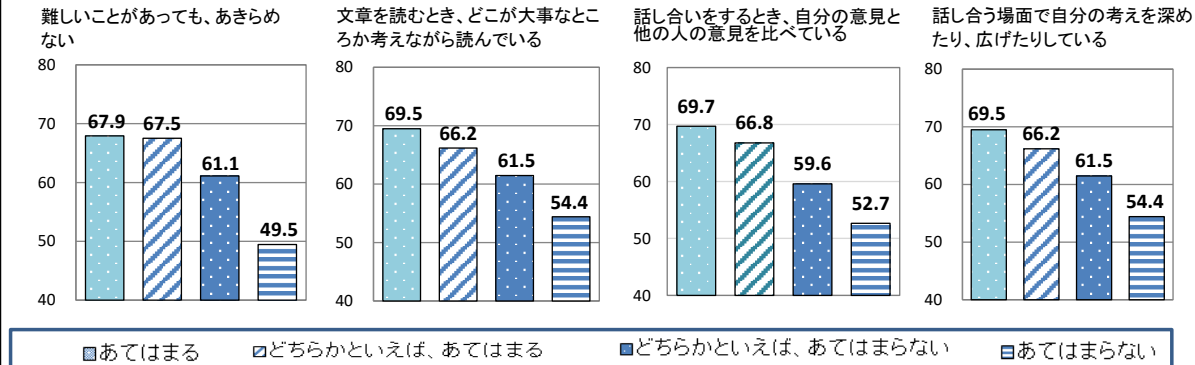
- 教科の枠を超えた日常の活動や現代的な諸課題（SDGs、プログラミング的思考）等をテーマにした問題。
- 文章や絵、図、表、グラフを読んで、自分の考えを書くなどの問題。

＜わくわく問題の観点＞

- 子どもが、多様な他者と協働し、探求的な学習を進め、生きる力を伸ばすために必要な力として、以下の5つの観点に整理される。

- A：図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、正しくとらえる。
B：図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考える。
C：図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに新たな課題を考える。
D：図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに自分の考えをまとめ、伝える。
E：興味・関心のある事柄について、意欲的に工夫して相手に伝える。

わくわく問題の正答率 × アンケート クロス集計から



「難しいことがあっても、あきらめない」にあてはまると回答した児童の正答率が高い。また、文章の大事なところを考えながら読んだり、話し合いの時に、他人の意見と比べながら聞いたり自分の考えを深めたり、広げたりしている児童の正答率が高いことがうかがえる。

わくわく問題（教科横断的問題）の状況 【良かった点】

図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに新たな課題を考えたり、自分の考えをまとめ、伝える問題である下記2（3）について大阪府より正答率が高く、無解答率も5・6年生で2.8ポイントと低い。本問題については、複数の情報をもとに「自分ならどうするか」を決定し、それに合う内容のものを選択し、自分の言葉で説明する力が育てられていると考えられる。わくわく問題の「理由や根拠を明確にして伝える」「自身で考えたことを伝える」に関する設問においても、府の平均正答率を上回っていた。

わくわく問題（教科横断的問題）の状況 【改善が必要な点】

図や表・グラフ・短い文章・会話文等の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考える問題について、今回は3問出題された。下記の2（2）については5・6年生ともに正答率が低い結果であった。本問題については、複数の資料の情報を正しく読み取り、プログラミングの矢印を完成させるために、どの部分に足すのかはわかっているが、矢印の向きや種類をすべて正しくとらえられていない誤答が多かった。この課題解決に向けて、児童が授業の中で複数の資料を正しく理解し、それを文章や図・表などにまとめる活動の時間

○問題の概要 2（3）

観光を題材として、与えられた資料をもとに問われている内容を論理的に思考する力、相手意識や目的意識を明確にして情報を発信する力を問う内容。自分なら、大阪に来る人たちのために、どのような【大阪1日観光プラン】を作るのかを複数の情報を関連付け、プランを考え、そのプランの魅力を伝える紹介文も具体的に書いているかを問う問題。

○問題の観点 C D ○問題形式 記述

正答率	市平均	対府差	府平均
5年生	59.1	+2.9	56.2
6年生	71.6	+3.1	68.5

○問題の概要 2（2）

観光を題材として、与えられた資料をもとに問われている内容を論理的に思考する力、相手意識や目的意識を明確にして情報を発信する力を問う内容。観光案内の機能を持ったアプリケーション『デジタル観光案内』を作成するにあたり、複数の資料や【みんなの意見】をもとに、作成された【画面移動の図】を完成させるためにどのようなプログラミング(⇒)が必要なのかを問う問題。

正答率	市平均	対府差	府平均
5年生	19.7	+2.4	17.3
6年生	26.0	-0.4	26.4

(3) かなたさんたちは、大阪観光について学習を進める中で、次の資料を見つけた。

資料1 【大阪観光で楽しみたいことに関するアンケート調査の結果】

質問：大阪観光で楽しみたいことは何ですか。あてはまるものに○をつけてください。2つ以上に○をつけてもかまいません。

大阪府民にむく1000人に質問をして「○」をつけた人数
※○をつけた人数が多かった質問をグラフに示しています。

ア 大阪の食べ物を楽しみたい
イ 大阪の遊園地や水族館、動物園を訪れたい
ウ 有名な道徳や歴史のある建物を訪れたい
エ 大阪の文化を見たり体験したりして楽しみたい
オ 自然のある風景を楽しみたい

大阪府「大阪観光政策実行計画策定に係る調査検討委員会報告書」より作成

「大阪の食べ物を楽しみたい」や「大阪の遊園地や水族館、動物園を訪れたい」と思っている人が多いね。

かなた

その2つは特に人気があるみたいだね。それ以外だと、歴史や文化、自然などを楽しみたいと思っている人が多いみたいだね。

はんな

これから大阪に来る人たちに、おすすめの大阪1日観光プランを考えて紹介してみたい。

かなた

それじゃあ、大阪1日観光プランを考えるために資料を集めて、大阪でおすすめのことを調べてみよう。

はんな

かなたさんたちは次の資料2から資料4を見つけた。

資料2 【大阪の「食」について】

◆大阪といえば「食」料理

大阪といえばまず思い浮かぶ料理が、お好み焼きやたこ焼きです。こうした「粉もん」料理は、大阪で発展してきたとともに、観光客からも大阪の代表的な食べ物として人気となっています。

◆大阪の伝統料理（大阪にある「100年フード」）

「100年フード」は、その地域で世帯をこえて受けつがれてきた「食の文化」を国が認定する制度です。大阪には、長い間ずっと大切にされてきた食べ物も、未来に残したい食べ物もあります。

国に認定されている大阪の「100年フード」

伝統の100年フード部門

あわおこし
大阪だしうどん

近代的な大阪の100年フード部門

大阪の鉄板粉もん文化（お好み焼き・たこ焼き）
大阪のくじらハリハリなべ
高橋うどんギョーザ

資料3 【大阪で人気の観光地】

場所の名称	観光どころ
明石海峡吊橋（明石海峡大橋）	長さ3330mもある、巨大な橋
万博記念公園・日本園	季節ごとの美しさがある日本園
中之島公園	「大阪みどりの百選」に選ばれている公園

屋上や緑地

大阪城天守閣（大阪城公園）

高さ50mの御座敷や保存されている歴史的な建物

大阪府中央公会堂

100年以上に建てられたレンガ造りの美しい建物

寺

1400年以上の歴史を持つ寺に建てられて建てられた建物

神社

国宝や重要文化財として大切に保存されている建物

レジャー施設

水族館

世界最大の海を再現した巨大水槽がある水族館

水族館

生き物や自然を身近に楽しめる水族館

遊園地

40種類のアトラクションがある遊園地

動物園

動物のくらしをできる様子が見られる動物園

資料4 【文化を楽しむ大阪の観光スポット】

見て楽しむ ～劇場で楽しむことができます～

お笑い劇場

演劇の劇場

文楽の劇場

体験して楽しむ ～伝統的工芸品に関わる体験ができます～

「専打万手」包丁づくり体験

「大坂屋敷」包丁づくり体験

「なにわ染め」てぬいづくり体験

「大坂屋敷」包丁づくり体験

「いずみガラス」ガラス工芸体験

金ばし器り体験

国産産業遺産データベース【伝統的工芸品】(https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/mondbase/industry/index.html)を参考に作成

わたしは、資料1のAとエに注目して大阪1日観光プランを考えたい。観光プランの内容やその魅力を伝えるための紹介文は資料2と資料4から考えたい。

かなた

【かなたさんの考えた大阪1日観光プラン】

資料1で注目したところ

Aとエ

1日観光プラン

□ 道徳を見てたくさん笑う

□ 大阪だしうどんを食べる

□ てぬいづくり体験をする

この1日観光プランの魅力を伝える紹介文

このプランでは、大阪ならではの食や文化に親しむことができます。大阪で昔から大切にされてきたものを知りたい人におすすめです。

問い あなたなら、これから大阪に来る人たちのためにどのような【大阪1日観光プラン】を作りますか。【かなたさんの考えた大阪1日観光プラン】を参考にあなたの考えた【大阪1日観光プラン】を次の【条件】に合わせて書きましょう。

条件

○資料1のAからエまでの中で注目したところを1つ以上選び、マークを塗りつぶしましょう。

○【1日観光プラン】のらんに、資料2から資料4をもとにして、あなたがおすすめしたいことを3つ書きましょう。

○【この1日観光プランの魅力を伝える紹介文】のらんに、あなたが考える観光プランの魅力を文章で具体的に書きましょう。

【みんなの意見】

・どの画面からもトップ画面にもどれるほうが使いやすい。

・「検索」画面から「説明」画面に行けて、説明を読んだら、「検索」画面にもどれるほうがよいと思う。

・「地図」画面で観光地などを見つけたら、「説明」画面が見たいと思う。見終わったら「地図」画面にもどると使いやすいそう。

・緊急時にすぐ使えるように、「相談」画面にはどの画面からでも行けるようにしよう。

・相談をしているときにまちがって他の画面に行かないように、「相談」画面からはトップ画面にしか行けないほうがよいと思う。

問い 中村さんのお話と【みんなの意見】をもとに下の【画面移動の図】を作りました。中村さんのお話と【みんなの意見】をすべて満たして【画面移動の図】を完成させるには、【画面移動の図】にあて3か所矢印を加える必要があります。解答用紙の【画面移動の図】に必要な矢印を3つ書き加えましょう。

【画面移動の図】

【矢印の種類】

矢印の両方に進んだり、もどったりできる。

矢印の先に進めるが、もどれない。

(2) 図で相談を整理した後、中村さんが「デジタル観光案内」の画面について提案してくれました。

相談が整理されたので必要な機能がわかりやすくなりましたね。私は、緊急時に相談できる機能もあればよいと思いました。

解決したいことに合わせた画面を作り、その画面を組み合わせるときようですね。次の5つの画面で作っていきましょう。

画面の名前	画面の内容
トップ画面	「デジタル観光案内」を始める最初に出る
「地図」画面	地図で場所を調べられる
「検索」画面	キーワードを入れると一覧表が出る
「説明」画面	詳しく調べたことについて詳しく説明を見られる
「相談」画面	緊急時に電話やチャットで相談ができる

続いて、「画面がどのように移動できたらよいか」について中村さんと考えています。

説明の画面以外はトップ画面から移動ができるとよいですね。利用する人にとって使いやすいように画面と画面の間の移動を考えましょう。

かなたさんたちはみんなて話し合い、次のようにまとめました。